



こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎047(752)0453 植田 進 ☎047(487)9754
伊原 忠 ☎047(488)7207

市議団ホームページ <http://jcp-yachiyo.jp/>
共産党控室メール kyousan@city.yachiyo.chiba.jp



第305号

2017年2月6日

発行

日本共産党
八千代市議会議員団

八千代市大和田新田
312-5

4月から35人学級が小学校3年まで拡大

4月から小学校3年生まで1学級35人編成になります。八千代市では7学級増える予定です。毎年、「すべての子どもたちに、ゆきとどいた教育」を求める署名が行われ、今年には10万人余の署名を県議会に提出しました。教育関係者、保護者、県民の運動が少人数学級を一步進めました。

しかし、「先生が足りない」「教室が足りない」などを理由に校長の判断で、38人学級を選択できるようにもなっています。八千代市では教員が3人不足しています。県・市の責任で、教員不足を解消し、35人学級の完全実施を求めます。

安倍内閣がブレーキを、千葉県は放置

欧米では1学級30人以下が当たり前です。ところが日本の文部科学省は、学級編制標準を40人にしたままです。2011年に35人学級を順次進めるという法律改正を行いました。ところが安倍政権となり2014年度に35人学級への動きは止められました。千葉県では、2002年度から限定的ですが少人数学級を開始しました。現在、小学校1~2年生と中学1年生が35人学級です。それ以外の学年は38人学級です。県は「国がやらないから」と2013年度から遅れを放置してきました。少人数学級のために教員を増員する、教員加配要求を国にしてこなかったため教員不足が深刻です。



政党助成金の6分の1で小中学校全学年が35人学級に

全国の小中学校の35人学級を年次計画で実施する必要な予算（国庫負担金）を試算すると、初年度で約16億円、完成年度で約56億円です。政府は「財源がない」といいますが、政党と政治を腐らせている政党助成金320億円の6分の1あれば、全国小中学校の全学年で35人学級が実現できます。

学校では手厚いケアが必要な子どもが増え、学級崩壊やトラブルの増加など、さまざまな教育困難が広がっています。少人数学級になれば勉強をていねいに見ることができ、子どもの発言や発表の機会も増えます。日本共産党は子どもの状況、豊かな学びを考えたとき将来的には30人、さらに20数人の規模をめざすべきだと考えます。